

平成28年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立少年自然の家	指定管理者：少年自然の家共同事業体	指定期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日	所管課：市町村教育室地域教育振興課
-----------------	-------------------	---------------------------	-------------------

評価項目	評価基準（内容）	参考	指定管理者自己評価		施設所管課の評価			評価委員の 指摘・提言	
		昨年度実績	評価（内容）	評価 S～C	評価内容	基準ごとの評価 S～C	評価 S～C		
I 提案の履行状況に関する項目	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	① 社会教育施設としての設置目的及び管理運営方針に則り運営がなされているか							
		② 法令遵守の取組み状況は適切か							
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	① 利用承認、事業の実施等において平等利用が確保できているか							
		② 障がい者、高齢者、外国人等に対する誘導案内等の配慮は適切か							
	(3) 利用者の増加・サービスの向上を図るための具体的手法・効果	① 日帰り・宿泊合計の年間利用者数 （目標：宿泊数 57,700 人、日帰り数 43,600 人 合計 101,300 人）（昨年度：99,721 人）	99,721 人						
		② 施設・設備への投資が適切になされているか （平成28年度予定投資額：3,971,160 円） （内容：5年終了時までに森のパーベキューガーデン、インターネット回線を整備する）	0 円						
		③ 主催プログラムが適切に実施できているか							
		・実施回数 平成28年度目標：7回	5回						
		・申込者人数 平成28年度目標：160人以上（募集人数231人の7割下1ヶタ切り捨て）	参加者：127人 （募集の73%）						
		・内容（教育効果・参加者満足度・広報等）							
	④ 広報・情報発信の取組みが適切になされているか （広報手段、広報先、学校への営業活動、野外活動スキルの普及活動等）								
	⑤ 利用者サービス向上の取組みが適切になされており、効果をあげているか （教職員等指導者へのサポート、アメニティ、食堂メニュー等）								
	(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	① 維持管理の内容は効果的で適切か							
		② 施設管理に関する経費の執行状況は適切か							
		③ 施設の規模・機能にみあった管理体制・危機管理体制が確保されているか							
(5) 府施策との整合	○ 右記の提案の実施状況は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・ 府・公益事業協力等 ・ 行政の福祉化 ・ 環境問題への取組み ・ 府民、NPOとの協働 							
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1) 利用者満足度調査等	○ 利用者満足度調査を実施し、分析結果をフィードバックしているか							
	(2) 自主事業	① 施設の設置目的に応じた事業が適切に実施されているか							
		・実施数 平成28年度目標：10事業	10事業						
		・参加者人数 平成28年度目標：500人以上	参加者 484人						
		・内容（教育効果・参加者満足度・広報等）							
② その他の自主事業が提案のとおり実施されているか									
・実施数 平成28年度目標：6事業	4事業								
・参加者人数 平成28年度目標：1,100人以上	参加者 1,095人								
・内容（利用促進につながっているか、利用者満足度等）									

財 政 基 盤 に 関 す る 項 目	(3) その他創意工夫	その他のサービス向上につながる取組み、創意工夫がされているか							
	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	① 収支計画の妥当性及び事業計画・管理体制計画との整合性は図られているか							
		② 収入確保や管理コスト削減の取組みは実施されているか							
		③ 収支は計画どおり行われているか							
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	① 管理運営業務全体として職員体制は適切か							
		② 事業実施に必要な人員数の確保・配置従事者への管理監督体制・責任体制は適切か							
		③ 年間研修計画策定し、適切な研修体制の整備、職員の指導育成を行っているか							
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	① 運営基盤として、事業者の経営状況は適正か							
		② 運営状況として、事業者の財務状況は適正か							

○各評価項目についてS（優良）、A（良好）、B（ほぼ良好）、C（要改善）の4段階で評価をする。

○指定期間10年によるデメリットの抑止策

I (3) ①年間利用者数・・・正当な理由なく、目標利用者数及び前年度を下回る場合は「C（要改善）」とする。

I (4) 施設管理・・・正当な理由なく、各年度の修繕費の実績（具体的な予定額含む）が提案による計画の90%を下回る場合は「C（要改善）」とする。

○評価項目に複数の評価基準があるものについては、各評価基準につき評価項目と同じSABCの4段階で評価したうえで、

S（4点）、A（3点）、B（2点）、C（1点）として評価基準の平均値により評価項目の評価を、

平均得点が【 4～3.5 …S / 3.4～2.5 …A / 2.4～1.5 …B / 1.4～1 …C 】として決定する。

○評価基準に目標値が設定されているものについて

目標値の達成度が【 100%以上 …S / 目標値の85%以上100%未満 …A / 70%以上85%未満 …B / 70%未満 …C】

として評価を決定する。